



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月2日

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社
 コード番号 4559 URL <http://www.zeria.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長
 四半期報告書提出予定日 2019年8月7日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 伊部 充弘
 (氏名) 西澤 知幸
 TEL 03-3661-1039

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	15,113	1.0	1,329	18.6	1,556	10.6	1,146	48.9
2019年3月期第1四半期	15,259	4.5	1,632	173.5	1,741	162.4	2,244	241.3

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 502百万円 (43.2%) 2019年3月期第1四半期 884百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	24.14	
2019年3月期第1四半期	44.59	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	110,101	56,969	51.6	1,210.85
2019年3月期	110,433	59,347	53.6	1,235.09

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 56,809百万円 2019年3月期 59,185百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		17.00		17.00	34.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		17.00		17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,000	1.7	1,800	13.0	1,800	6.0	1,400	38.6	29.66
通期	65,000	5.1	5,000	33.8	5,000	51.7	3,800	10.0	80.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	53,119,190 株	2019年3月期	53,119,190 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期1Q	6,201,939 株	2019年3月期	5,199,132 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	47,488,701 株	2019年3月期1Q	50,329,710 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 販売実績	10
(2) 新薬パイプラインの状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に引き続き緩やかな回復基調が続いてはいるものの、通商問題の今後の行方や、英国のEU離脱を巡る動き、さらには、中国をはじめとする海外経済の動向に、一層注意が必要な状況が続いています。

医薬品業界におきましては、医療用医薬品は、医療費抑制策の一環として後発医薬品の使用が引き続き強力で推進されており、またOTC医薬品市場におきましても市場競争の激化が続いており、ともに厳しい環境下で推移いたしました。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は、151億13百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。また、利益につきましては、売上の漸減及び研究開発費等の経費が増加したことにより、営業利益は13億29百万円（前年同四半期比18.6%減）、経常利益は15億56百万円（前年同四半期比10.6%減）となりました。なお、前期に特別利益を計上したこともあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億46百万円（前年同四半期比48.9%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

①医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」は、国内におきましては後発品及び競合品の影響を受けて苦戦いたしました。海外市場では2018年12月より欧州で販売を開始した「ASACOL 1600mg」の寄与もあって好調に推移し、全体では売上を拡大いたしました。一方で、炎症性腸疾患（IBD）治療剤「Entocort」（国内販売名：「ゼンタコート」）は、海外の一部の地域で在庫調整が必要となったことから、苦戦することとなりました。なお、機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド」につきましては、引き続き内視鏡実施医療機関を中心に潜在的な機能性ディスペプシア患者の掘り起しに努めております。

これらの結果、当事業の売上高は、79億95百万円（前年同四半期比1.7%減）となりました。

②コンシューマーヘルスケア事業

主力製品群である「ヘパリーゼ群」につきましては、テレビCMなどの広告宣伝活動を積極的に展開し、製品認知度の向上に努めた結果、引き続き売上を拡大いたしました。なお、2019年6月に「ヘパリーゼW Jelly」を全国展開し、製品ラインアップを強化いたしました。また、「コンドロイチン群」につきましては、医薬品としての有効性、安全性、高品質を訴求し、健康食品との違いを明確にした販売活動を行った結果、売上は堅調に推移いたしました。一方、「ウィズワン群」等一部品目は市場競争の激化を受けて、苦戦いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は、70億81百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。

③その他

保険代理業・不動産賃貸収入などにより、当事業の売上高は36百万円（前年同四半期比0.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,101億1百万円となり、前連結会計年度末対比3億32百万円の減少となりました。その内訳は流動資産が380億42百万円で、前連結会計年度末対比6億80百万円の減少、固定資産が720億59百万円で、前連結会計年度末対比3億48百万円の増加となっております。流動資産の増減の主なものは、現金及び預金の減少2億69百万円、受取手形及び売掛金の増加5億68百万円、商品及び製品等のたな卸資産の増加7億36百万円、未収金の減少等流動資産のその他の減少16億97百万円であります。また、固定資産の増減の主なものは、有形固定資産の増加5億4百万円、無形固定資産の減少6億29百万円、投資その他の資産の増加4億73百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は531億31百万円となり、前連結会計年度末対比20億45百万円の増加となりました。その内訳は流動負債が398億93百万円で、前連結会計年度末対比10億54百万円の増加、固定負債が132億38百万円で、前連結会計年度末対比9億90百万円の増加となっております。流動負債の増減の主なものは、短期借入金の増加10億45百万円、未払法人税等の減少3億46百万円、未払費用の増加等流動負債のその他の増加4億80百万円であります。固定負債の増減の主なものは、長期借入金の増加3億98百万円、リース債務の増加等固定負債のその他の増加4億99百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は569億69百万円となり、前連結会計年度末対比23億77百万円の減少となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上11億46百万円、前期末配当の実施8億14百万円、自己株式の増加20億63百万円、為替換算調整勘定の減少2億71百万円等によるものであります。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と比べ2.0%低下し、51.6%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、利益が予想を上回る水準となりました。第2四半期以降につきましては、アサコールやヘパリーゼ群などの主力製品の売上高は引き続き拡大する見込みであるものの、国内外で実施している治験の進捗などにより研究開発費が高水準で推移すること、さらには、為替相場の先行きが不透明なことなども考慮し、現時点では2019年5月10日に公表いたしました連結業績予想は変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,045,049	7,775,288
受取手形及び売掛金	14,952,259	15,521,131
商品及び製品	5,865,843	5,963,534
仕掛品	1,118,459	1,470,735
原材料及び貯蔵品	3,039,418	3,325,958
その他	5,743,229	4,046,016
貸倒引当金	△40,967	△59,910
流動資産合計	38,723,292	38,042,754
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,303,721	7,176,472
土地	11,662,200	11,661,252
その他(純額)	3,947,772	4,580,008
有形固定資産合計	22,913,693	23,417,733
無形固定資産		
のれん	7,858,872	7,643,215
販売権	14,935,122	14,457,750
その他	7,005,302	7,069,269
無形固定資産合計	29,799,297	29,170,235
投資その他の資産		
投資有価証券	5,538,058	5,855,991
退職給付に係る資産	12,922,270	12,918,465
その他	552,295	711,170
貸倒引当金	△15,049	△14,503
投資その他の資産合計	18,997,575	19,471,124
固定資産合計	71,710,566	72,059,093
資産合計	110,433,858	110,101,848
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,763,231	1,935,548
短期借入金	27,988,804	29,034,165
未払法人税等	693,190	346,258
賞与引当金	1,178,007	878,383
返品調整引当金	46,813	49,776
売上割戻引当金	84,745	85,272
その他	7,083,753	7,564,077
流動負債合計	38,838,546	39,893,483
固定負債		
長期借入金	7,795,965	8,193,975
退職給付に係る負債	648,527	742,343
資産除去債務	55,027	55,095
その他	3,747,964	4,246,996
固定負債合計	12,247,483	13,238,410
負債合計	51,086,030	53,131,894

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	11,685,121	11,685,121
利益剰余金	43,822,190	44,153,810
自己株式	△10,565,994	△12,629,655
株主資本合計	51,534,715	49,802,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△21,658	△189,886
為替換算調整勘定	2,084,161	1,812,206
退職給付に係る調整累計額	5,588,368	5,384,648
その他の包括利益累計額合計	7,650,871	7,006,968
非支配株主持分	162,240	160,310
純資産合計	59,347,828	56,969,954
負債純資産合計	110,433,858	110,101,848

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	15,259,148	15,113,964
売上原価	4,368,066	4,269,190
売上総利益	10,891,082	10,844,774
返品調整引当金戻入額	38,995	46,813
返品調整引当金繰入額	41,855	49,776
差引売上総利益	10,888,222	10,841,810
販売費及び一般管理費	9,255,344	9,512,072
営業利益	1,632,877	1,329,738
営業外収益		
受取利息	2,539	5,616
受取配当金	120,609	143,453
為替差益	—	136,038
その他	40,939	37,834
営業外収益合計	164,088	322,942
営業外費用		
支払利息	48,049	50,763
為替差損	2,267	—
その他	4,684	45,013
営業外費用合計	55,001	95,776
経常利益	1,741,964	1,556,904
特別利益		
固定資産売却益	—	123
投資有価証券売却益	2,540	—
受取和解金	1,579,034	—
特別利益合計	1,581,575	123
特別損失		
固定資産売却損	—	388
固定資産除却損	87	215
特別損失合計	87	604
税金等調整前四半期純利益	3,323,452	1,556,422
法人税等	1,075,576	408,595
四半期純利益	2,247,876	1,147,827
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,518	1,566
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,244,358	1,146,261

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	2,247,876	1,147,827
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	138,339	△168,228
為替換算調整勘定	△1,349,647	△273,126
退職給付に係る調整額	△151,924	△203,719
その他の包括利益合計	△1,363,232	△645,074
四半期包括利益	884,643	502,752
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	890,628	502,358
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,984	394

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

在外連結子会社において、当第1四半期連結会計期間の期首よりIFRS第16号「リース」を適用しております。当該会計基準の適用に伴い、当第1四半期連結会計期間の期首において、有形固定資産の「その他」が881,256千円、流動負債の「その他」が221,534千円、固定負債の「その他」が659,722千円増加しております。なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,129,802	7,092,964	15,222,767	36,381	15,259,148	—	15,259,148
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	43	43	181,328	181,371	△181,371	—
計	8,129,802	7,093,008	15,222,810	217,709	15,440,520	△181,371	15,259,148
セグメント利益	1,367,627	1,479,144	2,846,772	57,894	2,904,666	△1,271,788	1,632,877

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,271,788千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,995,394	7,081,889	15,077,284	36,680	15,113,964	—	15,113,964
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	59	59	154,195	154,255	△154,255	—
計	7,995,394	7,081,948	15,077,343	190,876	15,268,220	△154,255	15,113,964
セグメント利益	773,545	1,773,013	2,546,559	56,812	2,603,371	△1,273,633	1,329,738

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,273,633千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	前年同四半期比 増減(△)率(%)
医療用医薬品事業	7,995,394	△1.7
コンシューマーヘルスケア事業	7,081,889	△0.2
報告セグメント計	15,077,284	△1.0
その他	36,680	0.8
合計	15,113,964	△1.0

(注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 金額は消費税等抜きで表示しております。

(2) 新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

(2019年8月2日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
承認	Z-213/ カルボキシマルトース第二鉄 (販売名:フェインジェクト静注500mg)	ゼリア	鉄欠乏性貧血	静注鉄剤	導入品
フェーズⅢ (アジア共同治験)	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
フェーズⅡ	ZG-801/Patiromer	ゼリア	高カリウム血症	陽イオン結合非吸収性 ポリマー	導入品

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
承認申請中 (中国)	Z-206/メサラジン	ゼリア・Tillotts Pharmaの共同開発	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調整剤	自社(Gr)品
フェーズⅢ (欧州)	Z-338/アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅢ (アジア)	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品

発売となった開発品

発売日	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
2018年12月 (欧州)	TP05/メサラジン	Tillotts Pharma	潰瘍性大腸炎	OPTICORE DDS技術	自社(Gr)品

自社(Gr)品: 自社グループオリジナル品